

第8・9回 「市民と議員の懇談会」

報 告 書

H27.11.4・6(市内 10 会場)

H27.11.18・19(市内5会場)



奥州市議会市政調査会

目 次

	ページ
1 実施要領	1～4
2 開催状況	5
3 各班報告書	
《第8回》	
第1班報告・概要	6～10
第2班報告・概要	11～19
第3班報告・概要	20～30
第4班報告・概要	31～35
第5班報告・概要	36～42
《第9回》	
第1班報告・概要	43～45
第2班報告・概要	46～50
第3班報告・概要	51～54
第4班報告・概要	55～57
第5班報告・概要	58～62
4 写真	63～64
5 開催チラシ	65～66

平成 27 年度市民と議員の懇談会実施要領

1 趣 旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として、市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 実施主体

奥州市議会市政調査会

【第 8 回 市民と議員の懇談会】

◇ 内 容

(1) 報告事項

① 9月議会の報告

(2) 懇談内容

①テーマ：「人口減少問題と奥州市の課題（地域自治区等）」

②議会に対する意見要望、地域における諸課題等

◇ 開催月日、会場

月 日	開会時間	班	会 場
11月4日 (水)	14:00 ～ 16:00	1	伊手地区センター 研修室
		2	常盤地区センター 和室
		3	真城地区センター 和室
	18:30 ～ 20:30	1	羽田地区センター 2F 和室
		2	米里地区センター 研修室 1.2
		3	南都田地区センター 日本間
11月6日 (金)	14:00 ～ 16:00	4	南股地区センター 2F 会議室
		5	玉里地区センター 会議室
	18:30 ～ 20:30	4	広瀬地区センター 大会議室
		5	白山地区センター 和室

【第9回 市民と議員の懇談会】

◇ 内 容

(1) 報告事項

① 9月議会の報告

(2) 対象団体

「消防団各方面隊」（各会場 30 名程度）

	本 部						分 団	計
	団長	副団長	本部長	方面隊長	副方面隊長	副本部長兼分団長		
水沢区		1		1	2	2	10分団×3人	36人
江刺区	1			1	2	2	10分団×3人	36人
前沢区			1	1	1	1	6分団×5人	34人
胆沢区		1		1	1	1	5分団×6人	34人
衣川区		1		1	1	1	5分団×6人	34人

(3) 懇談内容

①テーマ：「団員確保・災害時の課題について」

②議会に対する意見要望、地域における諸課題等

◇ 開催月日、会場

月 日	開会時間	班	会 場
11月18日 (水)	19:00 ～ 21:00	1	水沢地区センター 視聴覚室 研修室
		2	前沢地区センター 音楽室
		3	胆沢創造文化センター 研修室
11月19日 (木)		4	江刺生涯学習センター 204・205
		5	衣川保健福祉センター 多目的ホール

5 班編成

別紙のとおり

6 周知方法

【第8回 市民と議員の懇談会】

- (1) 市議会だより、市広報、ホームページに掲載、奥州FMで放送する。
- (2) 地区センターを通じて、地区振興会等各種団体に呼びかけてもらう。
- (3) 当該地区に個別チラシを作成し配布する。
- (4) 各議員は参加の声がけを行う。

【第9回 市民と議員の懇談会】

- (1) 本部役員については、出身区の懇談会に案内する。
- (2) 分団については、分団長宛に対象人数の出席要請を兼ねて案内する。

7 今後の進め方

- (1) 10/20（火）全員協議会終了後、市政調査会を開催。
 - ① 当日の進め方（9月定例会の報告、テーマについて話題提起）
 - ② 班ごとの打合せ（役割分担確定）
[班長、進行係、説明係、記録係、受付係]
- (2) 「市民と議員の懇談会」開催 [11/4～11/19]
- (3) 班ごとの取りまとめ [期限 12/15（火）]
・ 報告書、懇談会概要の作成
- (4) 「市民と議員の懇談会」報告会開催（28年1月中旬）

平成 27 年度「市民と議員の懇談会」班構成

①常任委員会：総務 7人、教育厚生 6人、産業経済 7人、建設環境 6人

②出身区：水沢区9人、江刺区6人、前沢区4人、胆沢区6人、衣川区1人

③会派：奥和会9人、市民クラブ5人、日本共産党4人、新世会3人、公明党2人、無会派3人

【常任委員会、（出身区）、（会派）】

1班	2班	3班	4班	5班
総務（水沢）（新世） 菊池利美	総務（江刺）（市民） 野富男	教育厚生（前沢）（奥和） 鈴木雅彦	総務（江刺）（奥和） 及川佐	教育厚生（江刺）（共産） 千葉敦
産業経済（前沢）（公明） 飯坂一也	建設環境（水沢）（奥和） 千葉正文	産業経済（水沢）（奥和） 菅原由和	教育厚生（水沢）（新世） 佐藤洋	産業経済（前沢）（新世） 菅原圭子
教育厚生（胆沢）（市民） 高橋政一	教育厚生（水沢）（公明） 阿部加代子	総務（胆沢）（共産） 今野裕文	総務（江刺）（市民） 佐藤郁夫	建設環境（水沢）（市民） 千葉悟郎
総務（江刺）（奥和） 中西秀俊	教育厚生（胆沢）（奥和） 小野寺隆夫	産業経済（江刺）（市民） 佐藤邦夫	産業経済（胆沢）（無） 加藤清	建設環境（胆沢）（奥和） 藤田慶則
建設環境（水沢）（共産） 及川善男	産業経済（衣川）（共産） 菅原明	建設環境（水沢）（無） 内田和良	建設環境（水沢）（奥和） 中澤俊明	総務（胆沢）（奥和） 渡辺忠
	産業経済（前沢）（無） 小野寺重			
事務局 吉田悦子	事務局 菊池敏彦	事務局 佐藤教雄	事務局 菅原幸一	事務局 高橋和美

平成 27 年度 市民と議員の懇談会開催状況

年 月 日	事 業 名	備 考		
第 8 回「市民と議員の懇談会」 〈10会場〉 テーマ：人口減少問題と奥州市の課題（地域自治区等）		男性	女性	計
11月4日（水）	伊手地区センター 14:00～16:00	9	0	9
	常盤地区センター 14:00～16:00	16	0	16
	真城地区センター 14:00～16:00	9	0	9
	羽田地区センター 18:30～20:30	8	0	8
	米里地区センター 18:30～20:30	14	1	15
	南都田地区センター 18:30～20:30	4	0	4
11月6日（金）	南股地区センター 14:00～16:00	14	4	18
	玉里地区センター 14:00～16:00	17	2	19
	広瀬地区センター 18:30～20:30	28	1	29
	白山地区センター 18:30～20:30	13	1	14
合 計		132	9	141
第 9 回「市民と議員の懇談会」 〈5会場〉 【消防団各方面隊を対象】テーマ：団員確保、災害時の課題		男性	女性	計
11月18日（水） 19:00～21:00	水沢地区センター 視聴覚室 研修室	28	0	28
	前沢地区センター 音楽室	25	0	25
	胆沢創造文化センター 研修室	35	0	35
11月19日（木） 19:00～21:00	江刺生涯学習センター 204・205	34	0	34
	衣川保健福祉センター 多目的ホール	24	0	24
合 計		146	0	146
第 7 回（H26.11）20 会場		258	31	289
第 6 回（H25.11）5 会場（女性団体対象）		0	94	94
第 5 回（H25.6）10 会場		136	7	143
第 4 回（H24.7～8）30 会場		399	55	454
第 3 回（H24.2）10 会場		188	18	206
第 2 回（H23.7）10 会場		167	18	185
第 1 回（H22.10～11）10 会場		116	18	134

第8回「市民と議員の懇談会」第 1 班報告書

1 開催月日	平成 27 年 11 月 4 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時 50 分	平成 27 年 11 月 4 日 (水) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 16 分
2 会場	伊手地区センター	羽田地区センター
3 参加者数	9 名 (内訳：男性 8 名女性 0 名) 議員・職員 1 名 ※職員は地区センター長	8 名 (内訳：男性 8 名女性 0 名) 議員・職員 0 名
4 出席議員	班長 及川 善男 議員 進行係 中西 秀俊 議員 説明係 高橋 政一 議員 議員 記録係 菊池 利美 議員 飯坂 一也 議員 受付係 菊池 利美 議員 飯坂 一也 議員	
5 欠席議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

【伊手地区センター】.....

【羽田地区センター】.....

・出席者が 8 名であり、少し盛り上がり欠けたが、出席者からは活発な意見が寄せられ、有意義な懇談会となった。

・参加者がほぼ全員発言し、発言回数も多く、思っていることを全て話してもらったという感じであった。

・出席者が少ない分、一人当たりの発言時間が長く、具体的で細かい点まで指摘があった。

・ここで取り上げられた問題を本会議で取り上げ、一般質問することとなった。

第8回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成27年11月4日(水) 会場 伊手地区センター No.1
 テーマ:議会だよりの内容、人口減少など

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	奥州万年の森 残土問題とはどういうことなのか。	これまでの経緯について、不明な点、納得が出来ない点があり、百条委員会が設置されたことなどを説明。	
2	胆沢の統合中学校にその残土は使えないかどうか。	土壌改良にもかなりの費用がかかる	
3	西和賀町で人口減少対策として、目標を立てていた。奥州市でも減るのをただ見ているということはないと思うが、議論とか検討はどのようになされているのか。	今各自治体が人口問題について、対策を立てている。奥州市でも人口対策を検討している。	
4	生産人口が増えるように、企業誘致などをするべきだ。	工業団地の用地が足りなくなってきているようなので、増やす計画はあるようだ。やはり企業の誘致は有効だ。	
5	安い賃金をあてにするような企業ではなく、しっかりした企業にきてほしい。	市長もトップセールスに頑張っている。 定住自立圏を締結した自治体とも協力した方が良い。 江刺の工業団地は、条件がいい。工業出荷額が去年は上がっている。東京エレクトロンが、奥州市の中でかなりの比率を占めている。 森林も活用した方が良い。地元の資源を活用した産業も考えた方が良い。	
6	ノーベル賞も受賞している ILCに弾みをつけて推進してほしい。	議会としても議員連盟を立ち上げたところだ。	
7	人口減少が目に見えてくる。金融機関の統合など、変化がはっきりしてくる。 どのようになるか、していくか、施策が市民にわかるように説明をしてほしい。 ほとんどの市民はわからない。活字でいっぱい書かれてもわからない。 工夫が必要。奥州市が進むには、一体感を持って、前向きにいかないと他市に負けてしまう。今のままでは活気が出ない。	意見として受け止めた。	

第8回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成27年11月4日(水) 会場 伊手地区センター No.2
 テーマ:自由懇談(地域自治区、地域の困りごとなど)

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	水沢支所を本庁と別にした方が、駐車場のスペースができるのではないか。 本庁のスペースもできると思う。	組織再編については、意見が色々と錯綜している。 地域の温度差もある。	
2	広聴会で始めて知った人もいると思う。奥州市は一つということが大前提と思う。知恵を出して、上手くやっていただきたい。	地域自治区、組織再編のことについて、議員個々の意見を述べた。	
3	河川の木が伸びて、伐採に困っている。相当の人数で草刈りをした。 それと伊手側が大水の時に心配である。 江刺の球場への要望	当局に伝える。	
4	競馬・病院など水沢市時代の借金はいい方向にしているのかどうか。	競馬は1億円以上の黒字になっているが、改修などに使われ、元金の返済までには至っていないのが今の課題と思う。 水沢病院も単年度収支で黒字になっている。建物が限界になってきていることなどがこれからの課題。改革プランに基づいて進めている。 土地開発公社についても、市が肩代わりする形で、借金を返済している。	

第8回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成27年11月4日(水) 会場 羽田地区センター No.1
 テーマ:議会だよりの内容、人口減少など

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	指定管理者制度でどう変わるのか。	指定管理制度についての説明。市から来ている職員を引き上げる。5年後までにはすべての地区で指定管理になる。必要に応じて市でも支援していく。	
2	市は結婚支援事業をもっと積極的に進めるべきだ。少子高齢化、人口減少を問題にしているようだが、出会い事業の補助金を削ってとうとう27年度に補助金がゼロになった。この事業に女性20人、男性50人くらいの希望者がいた。もっと深く知りたいとか、事業の継続を求める人もいたが、仲人に対する支援も無い。これではやる気がしない。	婚活事業は県の結婚支援サポートセンターとなった。議会として、市に質していきたい。	
3	企業誘致など若い人が地元から離れない方策を早めに取りっていかないとならない。	雇用の場の確保も動き出している。	

テーマ:自由懇談

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	羽田小学校の校庭の水はけが悪い。この前の地区民運動会は、快晴でどこの地区でも運動会が開かれた。中止になったのは、羽田ともう一か所だけだったと聞いた。中止になったことで用意した賞品が使えなかった。これ以降の体育行事予算がなくて予定通り実施できなかった。校庭の暗渠排水などの整備をしてほしい。	金のかかることなので、すぐには難しいと思うが、教育委員会に質してみたい。	
2	企業誘致など若い人が地元から離れない方策を早めに取りっていかないとならない。	雇用の場の確保も動き出している。	
3	小谷木橋の工事が始まった。冬は自転車通学は禁止なので混雑が激しい。交通混雑を解消し、中学生の安全を守るためにもスクールバスを出してほしい。	スクールバスの運行には金がかかる。バスの購入と運転手の手配で何千万円とかかる。簡単にはいかない。	
4	小学校の問題では、トイレが一番の課題である。トイレの臭いを何とかしなければならぬし、校舎の2階にトイレがない。プールにもない。	その件については校長先生から聞いている。教育委員会でも今年度は屋根の防水工事を、来年度からトイレの問題に取りかかるとしている。	

5	放射能汚染のヘドロ回収ができないのか。現場保管は3年ということだったが、4年になってもまだ回収できないということだ。	現在、放射能で汚染された泥水の仮置き場は、市内に2か所となっている。羽田でも仮置き場についての説明を行ったが、一人でも反対者がいれば仮置き場を作らないという市の方針のようだ。そういうことではなかなか進まない。	
6	地区振興会の要望は、12行政区ある中で2項目くらいに絞って提出しているが、回答のランクが低い。道路が悪い。除雪にしてもボランティアにも限界がある。道路脇の木も切ってもらえない。	木の伐採については市に要望したが、所有者の責任ということである。地区要望は振興会が中心となって市長との懇談会等にあげていくと思うが、地区事情もあると思うので、意見として受け止める。	
7	住所を置かずにアパートに住んでいる人で、市民税が払われているかわからないのに、ゴミだけ出されるものかどうかと思う。ゴミが分別されていなくて、リサイクル担当者が分別表を渡したりしているが、渡せないと、何度も分別されずに出される。	住所がないと行政でも分からないので、アパートの大家さんを通じて入居者へ協力要請することや、ごみの問題であれば市の生活環境課へ相談することも方策と思う。	
8	持病があり毎月病院にかかっている。2か月に一度か、あなたにはこれくらいの医療費を払ってますよという通知がくる。相当の高額の医療費を払っているという内容なので見るたびに気分が悪い。何とかならないものか。	医療費通知は、医療費の不正受給防止の狙いもある。かかってもいないのに何度も通院したとか、高額な医療費が支給されたりとか、その情報を得るためでもある。だいぶ前に、医療費がいくらかかっているのか本人にも知らせるべきだということで導入された制度である。	

第 8 回 「市民と議員の懇談会」 第 2 班報告書

1. 開催月日	平成 27 年 1 1 月 4 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時 5 5 分	平成 27 年 1 1 月 4 日 (水) 午後 6 時 3 0 分から午後 8 時 2 5 分
2. 会場	常盤地区センター	米里地区センター
3. 参加者数	1 6 名 (男 1 6 名、女 0 名)	1 5 名 (男 1 4 名、女 1 名)
4. 出席議員	班長 千葉 正文議員 進行係 菅原 明議員 説明係 阿部加代子議員 記録係 小野寺隆夫議員、廣野 富男議員 受付係 小野寺隆夫議員、廣野 富男議員	班長 千葉 正文議員 進行係 菅原 明議員 説明係 阿部加代子議員 記録係 小野寺隆夫議員、廣野 富男議員 受付係 小野寺隆夫議員、廣野 富男議員
5. 欠席議員	小野寺重議員 (公務のため)	小野寺重議員 (公務のため)

6. 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7. 反省点、次回の課題等

毎年のことだが、出席者が少ない。

第8回「市民と議員の懇談会」概要

第2班 平成27年11月4日（常盤地区センター）会場

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	・財政上の問題もあると思うが、公助、共助の関係で、地域が主体的に物事に取り組むことが大切といわれても、地域にその受け皿となり得る力がないところもある。余りに性急に吸進めようとしても無理があるのではないか。	○市では、地域課題を解決していく協働の相手方として、地区振興会を考えている。しかし、今地域力がむしろ衰退している状況もうかがわれる。地区センターの指定管理制度も導入されようとしているが、それを契機として、自立できる地域力を備えていくことが望まれる。	回答
2	・人口減少問題にしても、補助金を出しているといってもそれだけでは解決しない。奥州市全体で若い人たちが飛びついてくるような案を考えるべきではないか。	○結婚支援について、現在お世話してくれる仲人さんが居なくなっている中で、行政がどこまでプライバシーに関わることに介入できるかが問題とされている。これといった案がないのが現状である。	回答
3	・都市計画や300項目の事務事業の見直しなど、旧市町村ごとの視点や地域ごとの視点で捉えるべきか、奥州市全体として考えるかによって意見も違ってくると思う。どのような視点で捉えるべきか。	○我田引水的な捉え方ではなく、オール奥州としてトータル的に判断されるべきと考える。これまでの10年間は、旧市町村が持ち寄った基金により作られた新市建設計画に沿って事業が進められてきた。今後は、奥州市全体の事業として取り組んでいく時期に来たと捉えている。	回答

4	<p>・この地区の特徴として、人口も世帯数も微増しているが、反面、半数近くが貸家やアパートの住人である。旧来からの地元の住民からすると、生活の中における環境面やごみの処理など、生活のモラルの面において問題が浮上してきている。アパートの管理会社に対して、市としてきちんと指導を徹底してほしい。</p>	<p>○行政としても、アパートの管理会社等への指導をお願いするという事は大切な事と考える。</p>	<p>後日調査回答</p>
5	<p>・ごみの分別が複雑になっているために、高齢者などは、ごみの分別等もできない状態である。</p>	<p>○それこそ地域での共助が求められている。資源ごみ等は、地域の団体で回収し、業者に持ち込むことによっては奨励金を受けているところもある。</p>	<p>回答</p>
6	<p>・万年の森とはどういうものか？</p>	<p>○旧前沢町時代、日本一の桑園をということで取り組んだがうまくいかず、合併後、奥州市で買い取る事になり、樹木を植樹して森を守る活動をしてきた。このたび、その土地をメガソーラー発電の会社に20年間貸し出し、地代と固定資産税で約7億円の収益を見込んでいた。ところがそこに最終処分場建設の際に発生した土を置いたため、それを市の責任で撤去しなければならなくなった。そうなった経過や過程において当局の説明がはっきりしないので、それを明らかにするために、100条委員会といわれる特別委員会を設置して、調査しようとしているものである。</p>	<p>回答</p>

7	<p>・人口減少問題とI L C誘致の関わりをどう考えるか？</p>	<p>○日本がI L Cを誘致するかは、ここ2～3年のうちに方向性が決まる予定である。 I L Cが、人口減少問題への足掛かりになることは間違いないと思う。</p>	回答
8	<p>・自治区廃止の問題は、どう議論されているのか？</p>	<p>○合併の際、自治区は10年間ということで設置した。 ただし延長できる規定もある。市民団体等から延長の陳情もあり、議会としては、来年3月の廃止は延期するものの、今任期中に結論を出すという発議を可決したところである。</p>	回答
9	<p>・地区公民館から地区センターとなっても何が違うのか？</p>	<p>○地区振興会を中心とした地域づくりを進めるに当たり、社会教育施設としての公民館ではなくて、公の施設としての地区センターにした方が、地域活動の拠点として社会教育法に束縛されない使い勝手の良い施設として活用されることが見込まれる。</p>	回答

第8回「市民と議員の懇談会」概要

第2班 平成27年11月4日（米里地区センター）会場

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	<p>・北上市と金ヶ崎町の人口は増えているが当市は減っている。原因は企業誘致の問題か。</p> <p>・市内三大マラソンの統一により地域の駅伝もなくなるのか。</p> <p>・米里地区は今どのような状況にあるかを各議員から聞きたい。</p>	<p>○雇用、所得、教育、医療、福祉など人口減少問題には様々な問題がある。北上や金ヶ崎には大企業が来ているが、江刺工業団地は工業用水の問題があり水を使わない企業を誘致してきた。今年、ILCを意識した新たな工業団地の整備調査に入っている。誘致企業が来ると若者も残るだろう。大変期待をしている。</p> <p>梁川、米里、伊手など中山間地域の振興策を考えなければならない。企業に行けない若者が、牧野や林業を活用するなど生活できる仕組みが必要であり、農業や林業で生き残れる姿を提案していただきたい。</p> <p>○事務事業の見直しで三大マラソンは止めるが、奥州市マラソンを29年度から始める予定で検討しているようだ。来年は国体があるためできないが、フルマラソン、ファミリーマラソン等、全国から来てもらう大会を望む。地域のマラソンについては特に話はない。</p> <p>○木細工小学校は小規模になってきているが、取り組みとして良い事を続けている。産業まつりのように、地域を挙げてやっていることもすばらしいと思う。衣</p>	回答

		<p>川区でも学びたい。</p> <p>○I L Cの姿を見据えて、どう変えていくのか、考えていくことになると思う。</p> <p>○地域についてよく分からない事がある。町場の絆は薄れているが地域の絆は強い。地区センターを核として地域コミュニティー、地域づくりが輝き出すのでは。</p> <p>○若い人が都市部に移り住み、高齢者が中山間に残っている。地域づくりの核となる若者が減るのは問題。どの地域も共通の悩みだと思う。診療所に来たことがあるが、医療の過疎をどうするか、市としてすぐ手だてを考えていくべきだ。胆沢駅伝は61回を数える。駅伝は地域の大会でありなくなるものではない。</p> <p>○当地域は種山や阿原山牧野もあり畜産振興の地域だ。木細工小学校があり、地域をあげ教育熱心。地域一円の集落営農組織を旧江刺で最初に立ち上げた地域。地域のまとまりを感じるし、素晴らしい地域だ。</p>	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団のデジタル防災無線化を今年から整備すると聞いたが、中山間地域には通じない（あまり効果がない）と聞くが本当か。アンテナは一基か二基か。 ・米里地域の街灯の90%はLEDに替えている。各区もLEDを活用すべきだ。 	○本件は、持ち帰って回答することとした。	後日調査回答

3	<p>・災害時における本市のハザードマップは古いのではないかと。常総市の災害に市長は想定外と言ったようだ。土砂崩れにより道路が通れなくなる箇所が多く対策を考えないと駄目。</p> <p>・65歳以上が6割進んでいる地区。バスで通院している人が多く、病院の状況と買い物できるバスの便を考えてもらいたい。時間帯を細かく考えてもらいたい。</p>	<p>○地域で心配していることは支所に災害担当者がいなくなる。建設協会等と一緒にやって対応することになっているが、担当者も地域に入って調査しマップを新しくし、地域を守る体制にしてもらいたい。マップが古くなっていることはその通りだ。</p> <p>○バス運行は見直したばかり（1年になる）。増便はまず無理だ。時間帯を動かすとか、デマンドシステムにするのか、システムを変えていくことになる。行政もそうだが、地域でもどうゆう方法がいいのか話し合ってもらわなければならない。</p>	回答
	<p>・夕張市の職員給与が400万円から300万円に減額になってやる気がなくなった。そんな事を言ったら、普通の会社に勤める人が居なくなる。職員が多ければ市民が満足するかと。いとそうではない。今のほうが親切に対応してくれた。</p>	<p>○5%減の予算方針は、職員のモチベーションを下げることになるのではないかと。(賛否両論ある)一律減額は良策ではない。むしろ有効な改善には予算措置したほうが職員もやる気になるのでは。昔は事務室に入っていたものだ。来客にはすばやく対応。今はカウンターから中に入ってこないというスタンスだ。</p>	回答
4	<p>・デマンドは進むのか？バス停から先の細部まで考えてほしい。</p>	<p>○江刺のバススタイルは続くと思う。胆沢では無料の患者輸送バスが走っている。路線バス+デマンドという発想も考えるべきだ。バス体制をどうするかまだまだ考えていくことが必要。</p>	回答
5	<p>・合併してよかったと思っているか聞きたい。</p>	<p>○合併特例債は有利な交付金。国の政策に乗り遅れたらとの危機感があったと思う。合併を決めた以上みんな知恵を絞って進めるべき。</p>	回答

		<p>○合併してよかったと思う。前に向かって取組むべき。</p> <p>○先輩の判断はやむを得ない。良い方向にすべき。平らにすべきに傾注しすぎた。今のような姿にすべきか議論をすべき。</p> <p>○反対の立場だったが震災を通じ合併により震災に強い自治体になりうる。良かったと言えるまちづくりをすべき。</p> <p>○合併に反対の立場。しかし、合併した以上は、前を向いて進むしかない。</p>	
6	・水沢病院を北上川東側の高いところに移転するよう検討されたい。(高機能病院を)	○ご意見を参考としたい。	回答
7	・当地域には特別老人ホームもなければ、J Aもなし、市役所もなし。合併してもナイナイづくしだ。	○抱えている課題をドシドシだしてほしい。	回答
8	・その後の放射線量はどうか。当地域は野生のふきのみ。	○継続して検査している。検査箇所を増やし、レベルの下がりを確認する必要がある。なお、出荷量の実績を持っている人には9割を保障している。	回答
9	・岩手は山林王国といわれた。岩手では森林税があるがどのように還元されているのか。江刺東中学校の運営評議員をしているが、児童生徒が減ってきている。人口が急に増えることはあり得ない。江刺東小学校に統一するようなこともあり得る。	<p>○森林、山を活用する政策をもっと市でも考えるべきとの意見でした。市にも農地林務課が真剣に取り組んでいるので、活用方法、地域が潤うような政策を求めていく。</p> <p>○子どもの適正な人数、スクールバスが地域の皆さんの足となるような方法もないのかとの提言でしたが、</p>	回答

<p>・厚生省と文部省との仲が悪く駄目だというのが、スクールバスに老人も乗せればいいのではないか。</p> <p>・木細工小学校にかつて勤めたことがあるが木細工小学校は小規模校で手が届かない面がある。適正規模の学校を考えなければならぬと思う。現実的には江刺東中学校の校舎の補修を急いでほしい。要望である。</p>	<p>すぐに許可になることはないと思われるが、場面、場面でそういう話があったことを伝えていく。</p>	
--	---	--

班長まとめ

考えさせられる話でした。

1. 合併10年で、振り返ってみななければならない。

きちんと整理しておかなければならないと思った。

2. 30地域を全ての議員が分かっているかといわれると自信がない。それぞれの地域が抱えている問題を把握しなければならないと感じた。

3. 機会を捉えて、皆に繋いで話すことがスタートなのでやめないで続けてほしい。

第 8 回 「市民と議員の懇談会」 第 3 班報告書

1. 開催月日	平成 27 年 11 月 4 日 (水) 午後 2 時から午後 4 時 03 分	平成 27 年 11 月 4 日 (水) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 20 分
2. 会 場	真城地区センター	南都田地区センター
3. 参加者数	9 名 (男 9 名、女 0 名)	4 名 (男 4 名、女 0 名)
4. 出席議員	班 長 佐藤 邦夫議員 進行係 内田 和良議員 説明係 今野 裕文議員 記録係 菅原 由和議員、鈴木 雅彦議員 受付係 菅原 由和議員、鈴木 雅彦議員	班 長 佐藤 邦夫議員 進行係 内田 和良議員 説明係 今野 裕文議員 記録係 菅原 由和議員、鈴木 雅彦議員 受付係 菅原 由和議員、鈴木 雅彦議員
5. 欠席議員	なし	なし

6. 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7. 反省点、次回の課題等

出席者が少ないので、呼びかけの際は、地区センターや地区振興会のみではなく、様々な団体等へも声をかけたほうがよいのではないかと。

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

人口減少問題と奥州市の課題

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:真城地区センター

No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>人口減少対策に特攻薬はないと考えるが、若者に魅力有る職場をつくっていくことが必要である。</p> <p>菅原由和議員が 6 月議会で「産業支援センター設置」や「就労支援のワンストップ」などを提案しているが、詳細を伺いたい。また、企業誘致などトップセールスは必要だ。議員としての取り組みもしているのか。</p>	<p>菅原由和議員より発言内容について説明。</p> <p>企業誘致に関して議員としての取り組みは行っていないが、視察などに出向く際は市のパンフレットを持って行くなどのPRはしている。</p>	
2	<p>自分たち自身で独創的なことを考えることも必要だが、他のいいところを真似ることも必要である。</p> <p>また、当地域は変わることには抵抗を感じているので、よそ者に言われないと変われないところもあるのではないか。真似できるところは真似た方が良い。</p> <p>また、若者に外に行ってもらって他の良いところを真似てもらおうことも一つではないか。</p>	<p>意見として伺う。</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:真城地区センター

No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>地域自治区や組織再編は、先日開催した市政のあり方広聴会では賛成する声が多かった。</p> <p>市財政は県内でもワースト上位に入っている実態もあり、将来の世代につけを回さないためにも行政コストの削減に向けた努力は喫緊の課題である。</p>	<p>地域事情が一番ではないか。合併して何もいいことがなかったという思いもある。また、総合支所が縮小され水沢だけに集中し、その周辺はどうなってもいいのかという声も多くある。</p> <p>地区センターを中心にしたまちづくりを進めているが、振興会などで解決出来ない課題もあり総合支所が必要だという声もある。</p> <p>今日の意見を真摯に受け止め、今後、地元での話し合いや議員間での協議をしていきたい。</p>	
2	<p>合併 10 年が経過したが、行政組織のスリム化もできておらず合併のメリットが出ていない。今回の自治区廃止や組織再編は財政再建に向けた望外のチャンスである。ぜひ、議員には小異を捨て大同について欲しい。</p> <p>反対する議員は簡単に民意と言うが、広聴会で示されたアンケートでは、組織再編に前向きな市民は 40%で、財政再建のためには多少のサービス低下はやむを得ない、効率化を推進すべきというのが民意ではないか。</p>		
3	<p>今から 60 年頃前に旧水沢市の合併が行われているが、真城地区では記録誌を編纂している。この中で、サービスの低下や農村地区が疎かにされる等、合併規模は違うものの今と同じような意見が出されていた。現状で真城や黒石が阻害されたかと言えばけっしてそうではない。</p> <p>中心部だけ発展させようという発想の市長や議員はいないと思う。</p>	<p>意見として伺う。</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:真城地区センター

No. 2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
4	今日の懇談会の出席者が少ない。また若い人が全く来ていない。会議のあり方を少し考えてもらいたい。	努力していきたい。	
5	スリム化をしようとしているときに、地元のしがらみで廃止してはだめだと言っているが、合併したなら合併したなりに、なぜ頭を切り換えて変革できないのか。生活が苦しい人が沢山いる中で、自治区廃止の善し悪しを言っている場合ではない。その通りやればいいではないか。	意見として伺う。	
6	事務事業公の施設見直しを進めているが、今どの程度進んでいるのか。（報告不要） 収支バランスは取らなくてはならない。頭を切り換えて欲しい。	進捗状況は全員協議会などで報告を受けているが、今日資料を持ち合わせていない。	報告不要
7	私はここの出身ではなく他から来たが、地元で育った人が感じないことを他から来ると「なんで」と思うことが多々ある。奥州市は旧式だなあと感じている。	他の方々の目で見えた意見を頂くことは、市の発展のためには大変に重要なことである。	
8	執行部側から議会に対して議案が送付されてから、議員が議案を掘り下げて勉強する時間はどれ位あるのか。	1 週間前に市長が議会を招集したときに議案が送付される。議会開会后一般質問があり、その後に議案審議するので、10 日から 2 週間程度である。	
9	議員は地域代表でもあるが、市の借金を返す方法を大所高所で考え議論していかなければならないと思う。	意見として伺う。	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:真城地区センター

No. 3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
10	<p>今後の懇談会のあり方として、今回 5 人の議員が来ているが、これを 3 人や 2 人にしてチームを増やす等、市民と接触する機会を増やした方が良いのではないかな。</p> <p>また、若者の関心が低いとも言うが、説明が不足していることもあるのではないかな。高校生や成人式を迎えた方、青年会議所等若い人たちとの懇談も考えた方が良い。</p> <p>若者が元気なところはまちが元気になるはず。若者が何を考えているか聞くしかない。</p>	<p>意見を参考として、議会として出来ることを検討していきたい。</p>	
11	<p>行政運営の進捗状況について、PDCAサイクルの期間を短くしていかないと世の中から遅れてしまう。</p> <p>議会でも月次単位で市から報告を受けてチェックをしていくべきではないかな。</p>	<p>同上</p>	
13	<p>合併の効果が無いと言われるが、合併前の議員や首長は減少した。それだけでも合併の効果は出ている。道路を直すとかだけが合併の効果ではない。噛み砕いてもっと説明すべきだ。</p>	<p>同上</p>	
14	<p>競馬組合への構成団体からの融資の返済状況は。</p> <p>返済がないとすれば、構成団体（奥州市議会）として競馬組合や管理者に対して要望をすべきである。</p>	<p>返済ルールに基づいているが、現在まで返済はない。</p> <p>競馬議会で返済を求めているが、議会としての要望については検討したい。</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:真城地区センター

No. 4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
15	<p>地区センターの指定管理者制度は馴染まないのではないか。振興会を中心にしたまちづくりをしていく上で、振興会の強化は必要であり、行政との接点をうまくしていかなければならない。</p> <p>これまでの他の指定管理の状況も含めて検証をしっかりと行って欲しい。</p>	<p>他の指定管理者も含めて、今後、議会でも調査していかなければならないという声もあることからしっかりと取り組んでいきたい。</p>	
16	<p>奥州市議会として T P P についてはどのような考えか。</p>	<p>農業関係団体から T P P 反対の請願が出され、全会一致ではないが奥州市議会として採択している。</p>	
17	<p>グローバル時代の中で補助金に頼るのではなく、これからはどう収入を得ていくか農家自らが考えていく時期ではないか。</p>	<p>国も猫の目農政ではなく考えて欲しい。また、個々の農家は零細であることから、今後足腰の強い農業への努力をしていかなければならない。</p>	
18	<p>地域における諸課題</p> <p>基盤整備の道路が未だに未舗装である。基盤整備関係の組織が無くなり、市に言えばそれは基盤整備だと言われた。振興会へ要望も出したが、件数が多く基盤整備関係として一括にされている。予算のこともあるが、未だに生活道路が未舗装で我慢している所もあることを議員は分かって欲しい。(折居漆原線)</p>	<p>担当課に伝えるが、道路関係は各地域で優先順位を決めて市に要望を出していることは理解して欲しい。</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:真城地区センター

No. 5

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
19	<p>地域における諸課題</p> <p>カーブミラーの取替をお願いしていて取替をしてもらったが、他で使えなくなり外したものを持ってきて付けていた。死亡事故も起きたところにも関わらずそのような対応をされた。その程度の評価しかされていない。</p> <p>(瀬台野生母線、中屋敷停留所前)</p>	<p>担当課に伝える</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

人口減少問題と奥州市の課題

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:南都田地区センター

No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	沿岸被災地から奥州市内に避難されている方々を市で受け入れることは出来ないものか。	定住を希望する方に対する支援は必要であると考えるが、沿岸自治体とすれば戻って来てもらいたいという思いである。	
2	将来車に乗れない年になり買い物が出来なくなったときに、どのようにカバーしてくれるのか。人口減少でカバーしてくれる人も減ってきて誰がしてくれるのか不安である。議会も一緒になり仕組みづくりをして欲しい。	市民の生活を守るためには重要な問題である。意見として伺う。	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:南都田地区センター

No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>胆沢中学校の廃棄物の問題は、建設会社の跡地でもあり何か出るかもしれないということは分かっていたことではないか。</p> <p>問題が起きてから後手後手の対応になっている。問題が起きてからではなく、議員も市の事業については前もって積極的に調査すべきではないか。</p>	<p>見える範囲では認識していたが、調査が足りないとはいわれればその通りかもしれない。</p> <p>全ての事業をチェックするには限界はあるが、出来る限り情報を収集し早めの対応をしていかなければならない。</p> <p>住民監査請求に対する監査意見として、議会も当初計画段階で前向きで建設的なチェックを期待するとの意見がされており、ご意見に通じる。</p>	
2	<p>議会だよりを見ていると議会では決まりきったことしか議論していないのではないかと感じる。</p>	<p>議会だよりの原稿には字数の制限があり、結論等しか掲載できない。実際はもっと深い活発な議論をしている。ぜひ傍聴に来て欲しい。</p>	
3	<p>荻ノ久保地区の基盤整備が当初計画の半分位に減った。10 年で出来るものが 20 年もかかるのではないかと地域では不安に思っている。この先もこの経過が続くのか。</p>	<p>県と市の予算は満額付いているが、国の農林予算が 4 割に削減されている。その分を県や市で対応出来るレベルでもない。議会も含めて陳情などをしていかなければならないと考える。</p>	
4	<p>今工事をしている市道、昨年の説明会では最後まで工事するとのことだったが、100m程度しかやっておらず延び延びになっている。どうせ工事をやるのなら一回にやって欲しい。また、地域の人を集めて説明会を開いて欲しい。</p>	<p>胆沢の議員には説明があり、新市建設計画に登載されているので今年度中に終わるとのことだった。今日は図面がなく詳細を話できないので、後日地区センターに図面を届ける。説明会については担当課に伝える。</p>	<p>図面等計画概要について地区センターを通じて回答要</p> <p>説明会の開催について担当課へ依頼要</p>

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:南都田地区センター

No. 2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
5	胆沢ダムが出来たこともあり、角塚古墳を公園化して観光客に立ち寄ってもらい価値観を認識してもらいたい。来年の国体に併せて出来ないものか市に相談したが、文化庁の許可が必要で難しいとのことだった。日本で最北端の前方後円墳という大切なものであるが忘れられてしまう。地域ではぜひやりたいと思っている。	過去に国道を付け替えることを条件にして、公園化構想があった。古墳の位置づけを重くすることも考えながら国に対して要望していくことも必要ではないか。	
6	100 条委員会は、そうむやみに設置するものではないと思っているが、奥州市以外で実施している例はあるのか。また、最終的に誰かが悪いとなったときに罰則や責任を取ることはあるのか。	議員によって思いは違うが、この問題が何故起きたのか、二度と起こさないために何が必要なかを解明するものであり、誰かを悪者にしようとするものではない。 証言に嘘があれば罰則がある。正直に話してもらいたいことから 100 条委員会とした。 場合によって責任をとることも考えられるが、そこはまだ分からない。	
7	地域自治区は平成 28 年 4 月 1 日から無くなるのか。 1 年延長する場合は今までどおり区をつけることになるのか。	市長の考えはそうである。 合併特例法の延長なので、これまでどおりである。その後、地方自治法に基づく地域自治区を設置するかしないかについてはまだ議論していない。	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 27 年 11 月 4 日(水)会場:南都田地区センター

No. 3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
8	将来的に自治区を廃止した場合に、住所表記から区がなくなるのであれば、字も無くした方が良いのではないか。書く方からすれば書きやすいし、大字や字があれば、田舎のイメージがある。	意見として伺う。	
9	地域自治区の存廃問題はもう少し早く議論が出来なかったのか。	議会でも市長に対してどうするのか見解を質してきていた。	
10	300 項目の事務事業公の施設見直しで、マラソンの廃止など市民が集う行事を削減することに納得がいかない。	財政状況が厳しい中で行財政改革は必要であるが、市民との協議をしながらメリハリのある改革をしていく必要があるのではないか。	
11	今日の懇談会は参加人数が少ない。かしこまった懇談会ではなく、もっと市民が集まりやすいテーマやタイトルにした方が良いのではないか。	意見として伺う。	
12	T P P に関して、特に農業分野で市の対策はあるのか。	今のところない。議会としては意見書の提出をしている。	

第8回「市民と議員の懇談会」 第4班報告書

1 開催月日	平成 27 年 11 月 6 日（金） 午後 2 時 0 0 分から午後 4 時 0 0 分	平成 27 年 11 月 6 日（金） 午後 6 時 3 0 分から午後 8 時 3 0 分
2 会 場	南股地区センター	広瀬地区センター
3 参加者数	1 8 名 (内訳：男性 1 4 名女性 4 名) (議員・職員 3 名)	2 9 名 (内訳：男性 2 8 名女性 1 名) (職員 2 名)
4 出席議員	班長 中 澤 俊 明 議員 進行係 佐 藤 郁 夫 議員 説明係 佐 藤 洋 議員 記録係 及 川 佐 議員 加 藤 清 議員 受付係 及 川 佐 議員	
5 欠席議員 議員 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7 反省点、次回の課題等

・市の「市政報告会」や議会の「市民と議員の懇談会」は、各地区にとっては数年に1度の開催で貴重な場面と捉えており、待ち望んでいることが伺えた。

・若年層や女性の参加が少ないのは当初から問題としないで開催してはどうか。団体を対象とする懇談会の際に、若年層や女性の参加を促せばいいのではないか。

第8回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成27年11月6日(金) 会場 南股地区センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	平成28年4月より組織再編の方向にあると思うが、その内容はどうなるのか。現在34人の職員が半分程になるのか。組織再編を行なう場合は急激ではなく、地域を考慮して欲しい。	自治区と組織再編は別に考えるべきもの。 当局が考えているのは総合支所としては残すが、組織再編は進める考えである。	
2	総合支所については、財政支援を受けられるのか。自治区は残すべき、なくなると地方は急激に衰退するのではないか。	要望として承る。	
3	協働のまちづくりを進めることにより、地区センターに市政を丸投げする方向にあるのではないか。地区センターの指定管理は胆沢区はどうなっているのか。	平成28年度の指定管理の方向に協議を進めている。	
4	学校統合により都市部に人が移動する問題と思う。地区センターでの役割は今の市政のあり方では過大になりはしないか。火災・災害に対応できる行政対応を考えるべき。	要望として承る。	
5	マイナンバー制度についての情報を細かく知らせて欲しい。リニアコライダー設置についての情報を知りたい。負の部分はないか。火災が発生した時の情報伝達を早くして欲しい。担当者がいないので対応できないとの事だが、改善を求める。		要回答
6	幹を太らせて枝葉を落している。地方総合支所を主体に行なうべき。自治区を残して欲しい。総務企画は本庁で、それ以外は支所で行なう対応を求める。地区センターの指定管理により地域により格差が生じるのではないか。	要望として承る。	

第8回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成27年11月6日(金) 会場 南股地区センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	万年の森に係る百条委員会の方向性は。また残土のあり方は。		
8	市有林の処理について、有効に活用すべきである。学校施設等に利用されたい。	要望として承る。	
9	衣川診療所の勝田医師が退職された場合は、後任の医師を確保して欲しい。人口減少対策を充実して欲しい。	要望として承る。	
10	議会の方々に、この南股地区に来て見て欲しい。		
11	敬老会等への市長、議長への出席要望について、出来るだけ出席をして欲しい。		

第8回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成27年11月6日(金) 会場 広瀬地区センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	人口減少は何が問題なのか。日本や奥州市の望ましい人口は何人なのか。日本の面積を考えれば、他国と比べて何が問題なのか。	日本の人口を考えると、出生率を考えるべきだと思う。望ましい出生率は1.85。理想の人口という数字については勉強不足である。	
2	広瀬地区では人口減少を心配していないような気がする。	意見として承る。	
3	人口減少増減率が北上市より奥州市が高い要因は何か。	北上市について大きいのは工業団地。花巻市と奥州市は同じような数字だが、北上市も5～6年前財政が苦しいときがあり、市民税等見直した経過がある。増えるということはないと思うが、年齢構成で若い人が多い。	
4	農業振興対策は農家の努力だけでは対応できない。補償を含めて農家を守ることは必要である。農協改革を進めなければ農業は守れない。	市単独では難しい。JA含め各種団体と懇談していきたい。	
5	地域自治区は残すべき。区ごとの地域協議会の連帯感を保てる。総合支所は現在のまま残して欲しい。	意見として承る。	
6	人口減少については、過去に産児制限のような政策を行なったことが少子化に繋がっているのではないか。	国や自治体でそのような産児制限を行なったことは無いようです。団塊世代の方々が今後高齢者になる比率が高くなる。	
7	農業で生活ができるのであれば人口は増える。農業で生活できる施策が必要ではないか。議会として議論して欲しい。	ご意見に込められるよう努力していく。どのような施策が行なえるか協議していきたい。	
8	TPPに対応できる農業体制作るため、ほ場整備事業を進めるべきであるが、国の予算が乏しい。予算要求をすべきである。	国として一環とした政策が出て来ないというのが現実。議会としてはTPPには反対という意見書を出している。市長には農業に対する予算を付けるべきだと話しているが目に見えない。	

第8回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成27年11月6日(金) 会場 広瀬地区センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
9	市の広報に掲載されていたが、街路樹の管理費はどうなっているのか。市において管理すべきである。	街路樹の管理費は土木費から支出している。通学路上の樹木などの危険木除去は、所有者にお願いして撤去してもらうことになる。	
10	市道寺田線の舗装を要望する。	江刺区では、地区ごとに優劣をつけ計画的に要望を行なっている。	
11	合併時、江刺が持込んだ基金はどうなっているのか。	ルール内は人口規模、財政規模でそれぞれが持ち寄った基金。本年度でこの制度は終わる。9月補正で約2千万円残っていたが、その分は現道舗装に使う。	
12	市道を県道に昇格して欲しい。	何回も要望しているが、登記上の問題があった。	
13	国道456号線の温度計が作動していない。改善を求む。 (サービスとして温度計を付けているのであって、道路上は問題ないため修繕しないと以前、回答された)	承る。回答は地区センター通じで出します。	
14	医療機関の受付順番の札を消毒しているのか。安全対策を望む。	要望として承る。	
15	市政のあり方公聴会のあり方に問題がある。市長が地区にくる回数が少ない。	住民と意見としてキチッと伝えていただきたい。	
16	地元に議員がいないので、この懇談会を心待ちにしている。議会の情報が欲しい。	意見として承る。	

第8回「市民と議員の懇談会」第 5 班報告書

1 開催月日	平成 27 年 11 月 6 日 (金) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 35 分	平成 27 年 11 月 6 日 (金) 午後 6 時 31 分から午後 8 時 49 分
2 会場	玉里地区センター 会議室	白山地区センター 和室
3 参加者数	19 名 (内訳：男性 15 名 女性 2 名) (議員・職員 2 名)	15 名 (内訳：男性 12 名 女性 1 名) (議員・職員 2 名)
4 出席議員	班長 渡 辺 忠 議員 進行係 藤 田 慶 則 議員 説明係 藤 田 慶 則 議員 記録係 千 葉 敦 議員 菅 原 圭 子 議員 受付係 千 葉 敦 議員 菅 原 圭 子 議員	
5 欠席議員 千 葉 悟 郎 議員	

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

-
-
・発言者が同じ人が多い。
 -
・女性の参加者が少ない。出席しやすい工夫をするべきである。
-

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 6 日(金) 会場 玉里地区センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>6月の地域自治区延長の議員発議について、現在の市長と市議会議員の任期とするとあるが、これはどういう意味が含まれているのか。</p>	<p>市長と議員の任期は同じで、その中で責任を持って結論を出すということで、議員の任期が終わったから知らないではなくて、議員の任期内に結論を出すということでこういう文言になった。1年ないし2年のうちに議員としては結論を出したい。</p>	
2	<p>地域自治区、市長は将来的に廃止、市民の一体感と情勢を図って協働のまちづくり、言葉としては美しいが、これはなかなか難しい問題。 地域自治区に市長がそんなにこだわって、地域自治区があることに何の弊害があるのだろうか。 なくすのはまだ早いと思う。 地域の垣根は見えないところでまだある。地域の垣根を取り払おうよと、議場を出れば何度も話をするが、議場で予算書を見ると出身地区の予算が気になる。これは全議員が同じだと思う。</p>	<p>市民の声をもっと聞くべき。 地域の垣根を取り払う、一刻も早い時期に地域の垣根を取り払って、奥州市の一定の方向性を出す期間だろう。今、ここまで来て、いろいろな請願、陳情を見たり話を聞くと、現在まだその時期に至っていないのが多すぎるという話がある。合併時の地域協議会で取り上げたのが全て完了したという市長の答弁であるが、具体的内容に市民理解が至っていないのが多いと最近感じてきた。形ばかり進めて内容が伴っていない。 今大事なのは、10年経って何が未解決なのか、当局、議員もしっかり聞くべき。合併した時の温度差がまだある。それを解決しなかった当局と議員に責任がある。議会も真摯に聞いて、議会、議場で当局に問いただしていかなければならないと最近感じている。</p>	
3	<p>100条委員会、早期に結論を出し、市民に説明すべき。 胆沢中学校の問題、この問題、市民と議員の感覚が違うのでは。常識的に考えれば、売買契約して、中身に問題があったならば、それは売った人の責任。時間をかけて整理する、これは市民感覚とずれているのでは。市民の多くの方がおかしいということに関しては、議員はしっかり問題として取り上げ、実質を明らかにする、改めるべきところは改めていく、そういう姿勢で議員としての活動をしてほしい。</p>	<p>議員の協議会の席上でもいろいろ出た。時間をかけるべきではない、正しいことは早くつかんで結果を市民に知らせるのがこの委員会の役目だろうと。早く結論を出せるように努力したい。</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 6 日(金) 会場 玉里地区センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
4	<p>市議会だよりで 100 条委員会の設置についてあったが、これは全国的に見てもそうそうあるものではない。抜いた刀は鞘に納めなければならない、どういう形で鞘に納めるか非常に関心がある。</p> <p>委員会を立ち上げた以上は、真実を明らかにするために、全議員、本気で活動してほしい。本気になって方向性を示し、短期間で結論を出し、終わらせるべき。</p>	<p>話があったとおりでである。100 条委員会設置については、議会内でも意見が分かれた。あまり設置例がない。重く受け止めている。</p> <p>議員間のやり取りの中で、真実を明らかにするには 100 条委員会しかない、その前に議員全員に案件の説明があったが、その説明の中で、説明に食い違いがあったり、以前に話したことが変わっていたりしたため、委員会を設置した中で、確かな証言を話していただくというのが設置の経緯である。</p> <p>設置した以上は、様々な面からどのような形で今日の経過になったのか調査する。当初は年度内と言ったが、もっと時間がかかるのではということで当面となった。</p>	
5	<p>人口問題は雇用の確立がされていない。手をくわえないでながめていてはどんどん人口は減少する。働く場所の確保を、当局、議会ともに取り組んでほしい。</p> <p>テレビ番組で、増田氏が県内の一例として、二戸市の例をあげると、子どもを 3 人生むとこのくらいの人口になるが、現実的には不可能というようなシビアな話をしていた。</p>	<p>社会的、全体的にきちっとした雇用体制が取れていない。安心して自分の生活設計が立てられないという方が多くいる。子どもを産み育てたいという気持ちは皆さん持っていると思うが、まず社会体制がもう少しきちっとならないと、雇用の問題だけではなく、様々なところで問題が生じてくるのではないかと思う。</p> <p>法律的には子育て支援の法律が成立しており、育児休業も男性も取れるまでに改善されてきている。そういう体制をしっかりと取れる社会づくりがすごく重要になってくると思う。</p>	
6	<p>山手なので、火事のときにどこの火事か見届けられない。個人情報の問題もあるが、情報を正しく地域に流すことは出来ないのか。無理であれば防災無線をつけるとか、明確な火災地点を知らないと対応できない。</p>	<p>消防団員にはすぐメールが入る。詳しい情報が入る。情報化時代で携帯、メールが普及しているので、その辺に消防組合は期待しているでは。団員不足の原因にもなっている。全員協議会で話題にしてみる。</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 6 日(金) 会場 白山地区センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>近隣の状況は、北上・金ケ崎の人口減少の状況が分かれば教えてほしい。</p> <p>北上・金ケ崎が近いからいいが、それを、指をくわえている行政では面白味がない。働く場所、大きな課題として取り上げて。</p> <p>覚悟を決めて、議会もしっかり取り組むように。</p>	<p>北上・金ケ崎は働く場所があるので減少は少ない。玉里会場でも同様のことが言われた。</p> <p>2市2町の広域自立圏の確保、これも人口減少対策の一つとなる。4人の首長が共に行っていく。市の商工会議所で、姉妹都市の静岡県掛川市との連携の準備している。提携組むことによって、東北にも拠点を構えたいという声があれば、有力候補にあげられるのではという話が出ている。自立圏構想中心に進めていく。</p>	
2	<p>子どもの医療費の助成の拡大を。子育てするなら奥州市！何か特色がほしい。</p> <p>以前に公聴会に参加し、その時、奥州市で光るものが何かないかとの質問があった。魅力のある施策が無ければ転入にならないのでは。</p>	<p>合併当時、「子育てするなら奥州市で」をキャッチフレーズにスタートした。福祉、医療、高齢者、子育てにギャップがある。働く場所と同様に、子育てについても12月議会、3月議会の予算が出てくると思うのでただしていきたい。</p>	
3	<p>人口減少問題、市民憲章どう実現していくか。雇用、教育・文化、医療・介護などどうするか、その市長のイメージが出てこない。安心して産み育てることが出来る地域づくりがなければできない。スケールメリットが出ると言われて合併した、何とかならないのか。将来構想きちんと出してほしい。</p>	<p>医療が人口減少の一つと考える。市民憲章にそっていないのは、なじまないというところが見えてきている。当班からこのこと報告し、みんなで考える。議員有志が、問題を考える動きが出てきている。首長だけではなく、議会でも考える時期であり、提案し話題にしながら考えていきたい。</p>	
4	<p>残土問題、お金をかけて捨てる。何をしているのか。例として、水道管の整備と一緒に実施して、歩道の整備をしてもらいたいと話をして実施してもらった。</p> <p>新たな金を使って「埋め立て」を実施すること疑問あり。ルール外で1億600万円の予算化してたが、買うことにgoサインが出なく仮置き対応できなかった。</p>	<p>今までの経過を聞いたので、今後の進め方をただして考えていかなければならない。</p>	

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 6 日(金) 会場 白山地区センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
5	<p>万年の森の残土問題、当時の区長として大きく関わってきたので、真実を述べたい。</p> <p>13 万立方メートルの覆土用。残りの土地の利用について、公共用に使おうという考えはなかった。最終処分場から 10 数万立方メートルの土が出ると聞いて、すぐに広域行政組合にも行った。</p> <p>12 万立方メートルでいきいきスポーツセンターに使ってほしいという要望出した。運搬費用、70～80%の補助金がもらえる。捨てることより活かす方策を考えようとし、市長にも話した。何カ月も回答はなく、その後、当時の副市長から土をどこに置いたらよいのかと電話があった。捨てる場所はない、そちらで何とかすべきと話した。</p> <p>発生した土を民間なら活かす方法を考える。</p>	<p>土は 5～6 年で使ってしまう。必要のくらい残しておくのも広域としては。いずれはどこかによけなければいけないということで、こういう問題になった。</p> <p>以前の事をお聞きしたので、今伺った話について確認していく。</p> <p>トータルな計画がしっかりしないとダメだ。</p>	
6	<p>自治区廃止・総合支所問題についての提案だが、議員は共通の認識をもってほしい。周辺の人たちも改革の必要性は認めている。進め方に異論を唱えている。</p> <p>10 年間振り返って、市民と議員が語り合える状況にあったのか。前市長の時は、各区事業のアンバランスで批判し合ったような感じがする。</p> <p>副市長人事の否決、医療問題、胆沢中の問題などに振り回されており、ほとんど生産性に結び付かない内向きの話。この原因は、合併市町村の財政を十分把握しない、新市の方向性についても十分議論されていなかった。コンプライアンスに対する職員の意識改革が不十分だった。毎回、コンプライアンスの問題が出ている。職員教育をしっかりとすべき。今までは準備期間ととらえて、さらに 10 年かけて新たな市として歩もうとする考える気はないのか。リセットして進めるのが近道。足元を固めるべき。これは緊急の課題である。</p>		

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 6 日(金) 会場 白山地区センター No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	<p>花巻市では、上田市長になって周辺部の支援に手が入れられてきている。</p> <p>合併時暫定市長の佐々木秀康氏の意見 - 5本の指にたとえて発言。これが新市まちづくりの基本と考える。それが欠けているから一体感にならないのでは。</p>		
8	<p>駆け込み合併時の言葉が「合併しないと夕張市になる」だった。総務省も大型合併の矛盾に気づいた。今までの見通しの見直し必要。年間 11 億 2,800 万円（県試算）70%の交付金が維持される。</p> <p>新たな見直しをした財政、行政の市民に対しての誠意を示すべき。</p>	<p>財政見直しを示していくのはそのとおりで重要である。今までの経過を踏まえ、トータル的にもいいと思う。</p>	
9	<p>自治区の廃止、総合支所の廃止には 100%反対。現在が一番いい形。市長、議員とも市民の声に耳をかたむけて、正しく議場で反映させるのが大前提なはず。一体感を壊しているのはトップ自身ではないか。シンクタンクの構成員はほとんどが水沢の方。一体感というのであれば、それなりにやってほしい。昔はライバル意識でやってきた。職員大部分がそうだったのではないか。市の発展にブレーキがかかったと思う。区の発展を考えるシステムを考えて欲しい。各区がレベルアップすれば、市もレベルアップすると思う。</p>		
10	<p>現状から考えた時、足（車）のない人の役所までの確保もしっかりと考えてから総合支所廃止を考えるべき。衣川から本庁までタクシー代往復 6,000 円かかる。</p>		

第 8 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 6 日(金) 会場 白山地区センター No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
11	<p>総合支所の弱体化、市長にもこの前意見を言ったが、議会（議員）にも意見言いたい。</p> <p>議員の質問で「解らないから教えてくれ」とあるが、分からないなら事前にもっと勉強して質問すべき。事務局職員ももっと勉強させるべき。議員をその都度指導するくらいの職員を育てていかないと、議会そのものがいつまでたっても市長になめられた議会になってしまう。議員を引き立てるような職員がいないと議会改革は出来ないと思う。</p> <p>新市建設計画はハード部分だけだった。ソフト面はどうなったのか、市民の心はどのように変わってきているのか。もっと考え、総括すべきではないか。じっくりと振り返って次に進んでいただきたい。</p>	<p>話が当たったとおりで。「解らないからお聞きする」確かにある。それは質問以前に当局にいて調べべきである。前からの大きな課題である。</p> <p>話（課題）たくさんいただいた。どれをとっても今の状況を考えると、そういうこともあってこうなっている問題も多く出てくるのではないかということもあるし、職員との問題もある。議員も一つの事業を精査しながら、当局が提案したら、それに代案までいなくてもそういうふうに出せるくらいまでいかないと、問題解決もままならない。いろいろなご意見をいただいたので、当班から提案して、議員全体で討論すべきである。</p>	
12	<p>地域協議会は公的ないい機関である。市長は、先送りは市の発展に影を落とすと言っている。お金をかけないで話の聞けるいい機関だと思う。市長に考えてもらいたいし、議会にも理解をしてもらいたい。</p>		

第9回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成27年11月18日(水) 会場 水沢地区センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	<p>団員の定数に対しては、不足しているが、奥州市に限らず、全県・全国的な傾向になる。定数の設定が何に基づいているかということもある。自治体の合併が進み、その流れの中で、人数を調整してきた。消防自動車も以前とは機能が違う。常備消防なども勘案しながら、今の定数になってきたと思う。</p> <p>つい最近の話だが、団員の確保策の一つとして、成人式でパンフレットを作って、配付するというものの了解は得ている。内容や、誰が配るかなどはこれからの検討。</p> <p>分団など、組織の編成も検討していく。</p>	<p>最近の状況として話していただいた。</p>	
2	<p>子育て世代では、大きな行事があるときの託児所があればと思う。家庭や会社にも特典があればと思う。議会もバックアップしてもらえればと思う。</p>	<p>託児所については、市にも聞いてみたい。協力する会社に対して、固定資産税を減免しては、という議論が議会でもしてきているが、そこで止まっているのが実情だ。</p>	
3	<p>意識改革が必要。震災などがあれば、ボランティアをする人が増える。普段からできることが身近にあることに気づいてほしい。</p>		
4	<p>コツコツと団員が減らないように努めている。団員の年報酬を上げてほしい。水沢市時代は会議にも日当が出ていたが、今は競技会や出初式など一日がかりの行事には手当てが出るが、それ以外は手当てが出ない。各部の財政は大変である。いくらでも結構なので、年報酬を上げてほしい、日当を出してほしい。</p> <p>団員の95%はサラリーマン。災害の発生時においては自主防災組織の活躍が一番。最初から消防団をあてにされては困る部分がある。家庭のこと、会社のことを考え、次に地域、というのが実情である。</p>	<p>自主防災組織の組織率は高いが、内容についてはこれからというのが実情と捉えている。</p> <p>防災士の講習会に行くと、若い人が多い。こういう人が地域で、一人二人と出てくると、変わってくると思っている。</p>	

5	民放のテレビで見たが、アパートの家賃を割り引くことをしていた。真似してもいいのではと思った。	花巻市では、市の施設の料金を割り引いている。奥州市でも、はっきりとした施策を創るべきと思っている。	
6	プレミアム商品券を消防団に配付するなど、はっきりとしてメリットがあればと思う。		
7	県議会では、退職金制度を上げられないのかという発言があった。今の市長、市議会においても年俸・年報酬を上げられないか、議論してほしい。 厳しいのはわかる。少しでも上がればと思う。 身近な町内会・行政区単位でも団員がどの位いるか。地域の単位でも考えてほしい。	市議会でも報酬の議論をしている。出動手当てなどについて、疑問に思うところもあるが、市の答弁では、他の市町村との比較で論じられる。	
8	報酬を上げるのが難しいのであれば、例えば市民税を減免、優遇するとか、別の方法もあると思う。 団員のいる行政区を優遇する制度があれば、地域でも考えるようになるのでは。意識改革は地域でも必要。	助成するのは、今はなかなか難しい状況にはある。	
9	公務員の方にも、入ってもらえれば。 地域でも、我々が勧誘するというだけでなく、地域で出す意識改革が大事と思う。		
10	定数と団員数の格差という点で、共済金の差額があると思う。相当な金額に思われるが、チェックしたことがあるかどうか。 夜勤に出て、手当てが出ないのはおかしいと思う。	調べてみたい。	
11	3. 1 1の教訓。備蓄などをしっかりしてほしい。		
12	自主防災組織の訓練をしてほしい。いざという時に投光機・発電機が動かないなどということのないように、点検などしてほしい。それに誰もが使えるようにしなければならない。 組織の長が変わっても、いざという時に動ける地域づくりをしてほしい。	真城地区など、素晴らしい地域がある一方で、まったく打ち合わせもしていない地域もある。市でも働きかけをしているが、難しい組織もあると聞いている。組織として防災組織も立てているところもある。	

第9回「市民と議員の懇談会」第2班報告書

1. 開催月日	平成27年11月18日（水） 午後7時から午後8時37分	
2. 会場	前沢地区センター	
3. 参加者数	25名（男25名、女0名）	
4. 出席議員	班長 千葉 正文議員 進行係 菅原 明議員 説明係 阿部加代子議員 記録係 小野寺隆夫議員、廣野 富男議員 受付係 小野寺 重議員、廣野 富男議員	
5. 欠席議員		

6. 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7. 反省点、次回の課題等

団体対象の会議で、懸案となっている課題について、率直な意見が相次いだ。

第9回「市民と議員の懇談会」概要

第2班 平成27年11月18日（前沢地区センター）会場

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	<p>・消防司令は、本庁において、総合支所は兼務している。縮小していいものとだめなものがあると思う。</p>	<p>○一極集中では地域が守れないということを首長には話しているが、5分の1採用で職員が減ってしまった中ではやむを得ないとの考えのようだ。議員もありとあらゆる場面で支所の体制強化を当局に話していく。</p> <p>○業務に支障をきたさないようにすると言っている。具体的にどういう支障があるのか私の方で聞きたい。団員の確保を市長が思案していると聞いた。</p>	回答
2	<p>・来年から支所が20名くらいになると聞く。情報収集が一番大事だ。消防団でも収集するが、市でも情報収集は必要だ。少なくとも前沢の事を分かっている職員を配置してもらいたい。最近、日中だと団員が30人集まらないこともあった。やはり、団員の確保は重要な問題だ。</p>	<p>○地域の事を分かっている対応できる人を何人かは置いてほしいと思う。衣川なんかでも若い人が試験を受けなくなって来ている。地区出身の人を支所に配置してもらうことは可能だと思うので話していく。日中団員が集まらないのは、どの区も同様だと思う。</p> <p>○支所の職員が少なくなったなと思う。災害の時は本庁から回す体制は取っているようだ。岩手・宮城のときは合併していて良かったと思った。本庁の職</p>	回答

		<p>員であっても、災害時は集中して配置できる体制だと思う。</p> <p>江刺の支所に行ってみたが、本庁業務を扱う職員だけが忙しく残業しており、支所の職員は早く帰っている。そこを何とかしようとするのが狙いだと思う。</p> <p>団員確保については、胆沢では西部地域がどんどん減っている。若い人自体いなくなっている。市の職員も団員に加入するようになってきたようだが、議員の家族も一つの方法だと思う。特効薬はないと思うが、皆さんが思っていることを提案してほしい。</p> <p>○衣川で休日に火災があったが、休日のため支所に防災無線を使える人がいなかった。どんなときでも災害に対応できる体制を組むことが必要だ。昔は地元就職すると皆消防団に入るようになっていた。地域は地域で守らなければならないという意識を持ってもらいたい。</p> <p>○本庁方式になって災害の時にどうするかが問題だ。支所の職員が減ったときに、どういう体制、システムを作っていかなければならないかだと思う。足りない中での対応できる仕組みづくりだ。</p> <p>団員が集まらないのは何故か？負担が大きすぎ</p>	
--	--	--	--

		<p>るからではないか。部のつくりを考えざるを得ないのではないか。統合の方法はないかなど。地域住民も市も柔軟に考えていくべきではないか。</p> <p>○団の活性化検討委員会で検討しているようだが、いくらかでも団員確保につながる方策を考えていくしかない。花巻では、協力する事業所に税の優遇措置を考えているようだ。</p>	
3	<p>・部長が頭を下げて辞めないでくれと頼んでいる。あるいは辞めるなら新しい人間を見つけて来いということになる。</p>	<p>○市職員、農協職員等が団に加入できるような仕組みづくりを応援していきたい。</p> <p>○花巻市では、スキー場、公共施設の入場料の減免制度をつくったようだ。スーパーや床屋等の割引制度も検討しているようだ。</p> <p>各支所に専任の担当者1人は必ず置いてくれと遠慮しないで言うべきだ。</p> <p>報酬は他地区と比べやや高い方だが、出動手当は1回1,500円一律となっているようだ。常備消防だけでは地域の安全は守れない。私としては、報酬を思い切って充当すべきと思う。</p>	回答
4	<p>・会社の理解もあるが、家族の理解が得られない点もある。そこで家族が優遇を受けられるような施策は大事だ。報酬を市内で使える商品券で出すとかすれば奥さんにも理解を得られるのではないか。</p>	<p>○花巻市の例は、公明党議員の提案だったようだ。家族の理解が得られるような策はいいアイデアと思う。企業の表彰制度も考えており、企業の協力を得られるような施策を考えている。</p>	回答

5	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と市の間で協定してもらえば、できると思う。商品券なども実践しているが数が少ないのが実情だ。 ・成人式の日には勧誘してはどうかという案も出している。 ・北上川に、水防隊のボートの発着所がほしい。 	○当局と話したいと思う。	回答
6	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル無線の導入で、活用範囲は広がるわけだがそれをどう活用していくのか？誰が誰に連絡するとか、20人なら20人でどう動くかをシュミレーションしておくべきだ。 	○奥州市の職員全員の問題だと思う。電話が使えるときの連絡体制を考えるべきだ。いずれ当局に話していく。	回答

第9回「市民と議員の懇談会」第3班報告書

1. 開催月日	平成27年11月18日（水） 午後7時から午後8時48分	
2. 会場	胆沢文化創造センター	
3. 参加者数	35名（男35名、女0名）	
4. 出席議員	班長 — 議員 進行係 内田 和良議員 説明係 今野 裕文議員 記録係 菅原 由和議員、鈴木 雅彦議員 受付係 菅原 由和議員、鈴木 雅彦議員	
5. 欠席議員	佐藤 邦夫議員	

6. 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7. 反省点、次回の課題等

団体対象の会議でありテーマが絞られていることから、そのテーマについての様々な考えを聞くことが出来たと思う。

第 9 回「市民と議員の懇談会」概要 第 3 班 平成 27 年 11 月 18 日(水) 会場 胆沢文化創造センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>コミュニティの変化や、仕事の関係で遠くにいるなど若手の人口が減少している中で、消防団の勧誘についてのメリットが必要ではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団員手帳による買い物割引や優待制度 ・団員世帯への減免や減税制度など <p>市内の商店会等のボランティアなどによって、市に負担がかからないような方法で考えて欲しい</p>	<p>団員であることのメリットは必要と考える。団員への優待や割引を実施している店舗を、市の広報やHP等で発信・紹介することなど、店側のメリットも確保すれば、市の負担を掛けない範囲で可能かもしれない。方法を考えながら、提案してみたい。</p>	
2	<p>3月の補正予算で、奥州市30分団3部の屯所への建て替え経費を承認した。しかし、事前に部長と相談し、団員のいない屯所なので建て替え不要、別に必要な屯所へ譲るべきとの回答をしていたのに、地域住民からの要望で建て替えを承認することになったが、これは、地域の声の押しつけでは無いか。地元議員も誤った認識で説明をしている。</p> <p>南都田幼稚園など地区内の幼稚園や小学校では、老朽化して子ども達が危険な状況にあるというのに、修繕の予算が付かないでいる。地域のことを考えるなら、そちらへ予算を回すべき。</p> <p>29分団に新しい屯所を建てたが、組織の再編成で現在空き家となっている。こういうのをムダと言うのでは無いか。機能を無視した議会の判断はやめて欲しい</p>	<p>胆沢地区の消防団については合併前からの約束があり、H27年度までに建て替えなどについて、予算執行で優遇されてきたのは事実である。</p> <p>胆沢地区の消防団については以前から独自のルールで市に要望を上げてきたため、市議会議員も原則的に口を出せなかった。</p> <p>合併時の新市建設計画の実施状況については、その後の状況の変化等に適応していないと、疑問を感じるものもあるが、合併時の約束を守れという地域住民の要望もあり、対処が難しい。</p> <p>いずれにしても、もう少し合理的な予算の使い道を考えて行きたい。</p>	
3	<p>大規模災害への取り組みについて、今後の組織再編で、支所ではなく本庁に担当者を兼務させるというが、それでは実際に災害が発生したときに、機能不全に陥る可能性が高い。今まで通り、支所に各方面隊ごとの担当者を配置して欲しい。</p> <p>消防団活性化委員会の前回の会議で、同様の提案・要望をしたが、市からは却下された。これらの消防団の声や、事実は議会にも報告されているのか。</p>	<p>活性化委員会は市の専権事項であり、議会には委員会で話し合った内容や結果などは報告されない。</p> <p>消防団の人から直接意見を聴きながら進めて行くしか無い。議会としても提案して行きたい</p>	

第 9 回「市民と議員の懇談会」概要 第 3 班 平成 27 年 11 月 18 日(水) 会場 胆沢文化創造センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
4	<p>大規模災害時の地域での取り組みとして、自主防災組織の育成が必要である。現状では、自主防災組織が形式化、形骸化している場合が見られる。防災無線を持つ地区センターと自主防災会の連携や、行政の関わり方が不足しているように思える。</p> <p>消防団は災害出動が仕事であり、地域の見守りや安全確認、避難対策等まで時間と人員を割くようでは、団員の負担が増え、本来の業務もできなくなってしまふ。地域の支援と、地域の自主防災組織が本来受け持つ役目を果たせるように、強化をお願いしたい。</p> <p>特に、団員は家族の保護よりも出動を優先しているのだから、団員の家族の安否確認や見守り等を優先して実行してもらえると、団員勧誘の有効な方法になると思う。</p> <p>各地域でも市と自主防災会、消防団が協力して総合防災訓練を実施すべきではないか。</p>	<p>自主防災組織の機能が、地域によって格差があることは承知している。名目だけの組織で活動を行っていないところや、組織は作ったものの、何をしてもよいか分からずにいるところ、ようやく市の担当者等の指導を受けながら活動を始めたところから、既に自主防災訓練などを繰り返しているところ等までまちまちである。</p> <p>防災組織からも、市と消防団との連携や分担等について話を聴いたりしているが、それぞれが独自に考えるのでは無く、全体を巻き込んだ防災訓練の必要性も言われているので、積極的に提案して行きたい。</p>	
5	<p>先にも話が出たが、南都田幼稚園の老朽化に伴う修繕予算がつかないのは何故か。胆沢の議員さん方は状況を視察して分かっているはずだが。</p> <p>中学校統合に伴う、廃校舎施設の今後の方針はどうなっているのか。</p>	<p>胆沢地区については、中学校の新築が優先で幼稚園までは手が回らないのが現状。胆沢の議員にも伝えておく。</p> <p>廃校後の施設・用地などについては、まだ決まってはいるが、基本的には売却することになるだろう。しかし、地域で活用したいとの要望があれば、前沢のケースもあり、どのようにするべきか考えて行きたい。</p>	
6	<p>防火水槽、消火栓の標識が老朽化して、表示が消えている。市では予算が無いとして進まない</p> <p>また、南都田の水防倉庫では老朽化して中が見える状態。消防予算の中では拋出出来ないと言われたが、危険であるから早急に対策して欲しい</p>	<p>担当部署に伝え、現状の認識確認と早期の対応を提案する。</p>	

第 9 回「市民と議員の懇談会」概要 第 3 班 平成 27 年 11 月 18 日(水) 会場 胆沢文化創造センター No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	<p>救急車の要請があまりにも簡単に行われている。市民の財産であり、本当の緊急時の対応が損なわれるのではないか。</p>	<p>いわゆるタクシー的利用問題は、議会としても考えるべきと思っている。市民の意識の問題でもあり、検討して行きたい</p>	
8	<p>団員不足は、年間の手当や給与のアップが不可欠である。費用対効果を考えると、他市と比べても非常に安い。予算の時期に合わせて、待遇の改善が必要。</p> <p>市内の平均活動日数に比べ、胆沢では倍以上活動している。地域との関わりも深い。そういう状況を議員にも理解して欲しい。</p> <p>過去の経過を見ても、団員は増減を繰り返してきた。もう少し長いスパンで考えるべきではないか。</p>	<p>手当や給与だけで無く、活動に関わる日数も多いと感じている。待遇改善は急務だと思っている。</p> <p>地域との関わり方についても、もう一度検討が必要と考える。市に提案して行きたい。</p> <p>団員の増減も、統合すれば逆にその団員が減るケースもあったりするので、組織の再編も含めて考えるべきと思っている。</p>	

第9回「市民と議員の懇談会」第4班報告書

1 開催月日	平成 27 年 11 月 19 日 (木) 午後 7 時 00 分から午後 8 時 45 分	
2 会 場	江刺生涯学習センター	
3 参加者数	34名 (内訳：男性 34名 女性 0名) (議員・職員0名)	
4 出席議員	班長 中 澤 俊 明 議員 進行係 佐 藤 郁 夫 議員 説明係 佐 藤 洋 議員 記録係 及 川 佐 議員 加 藤 清 議員 受付係 及 川 佐 議員	
5 欠席議員 議員 議員	

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

・他市の例では、常任委員会を単位とした班で懇談会を開催しているところもある。今回の消防団対象の懇談会であれば、例えば建設環境常任委員会を班として実施した方が、より具体的な回答や今後の対応が出来たのではないと思われる。

・団体対象の懇談会は、ある程度の参加者が期待できる。参加者の中で発言した方は5～6人程度であったことから、発言しない方は満足したものか不明である。団体対象とする懇談会の進め方を検討する必要がある。

第9回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成27年11月19日(木) 会場 江刺生涯学習センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	消防団のあり方について、議会としての考えはあるのか。	消防団に対して議会として協議したことはない。団員の不足は認識している。団の考えを聞き今後の議会活動に活かしていく。	
2	操法の県大会は団員2200人を下回ると出場チームは現在の2チームから1チームになる。活性化検討委員会を設置し、団員確保に向け協議を行なっている。金ヶ崎、盛岡においては国の多様な事業を活用し、事業実施している。消防団に加入した場合のメリットは必要と思う。若い団員の結婚支援が必要。職業、会社等の制約があり消防団に入団できないのが現状。	市としても企業に対して協力要請は行なっている。結婚支援については前向きに取り組まれるよう当局に働きかけていく。団員の加入は同世代の働き掛けの対応がより効果的である。 議会としても前向きに対応していく。	
3	企業による消防に対する理解が必要。企業によって消防に協力した場合の優遇措置が必要。団員に対しての費用弁償の改善が必要。	待遇改善の必要性は必要と思う。国も消防団員の待遇改善の方向にある。当局に働きかけていく。企業、事業所が消防に協力した場合、協賛企業としてポイント制の導入も必要ではないか。	
4	山間地は団員確保が困難である。企業に対しては法人税の減免も考えるべき。職場での消防団に対する評価してもらえる体制が必要。		
5	団員確保対策は結婚が必要不可欠。独身男性が多い。消防団になることで給与カット、ボーナス減になることもある。災害時の地域防災の連携について、消防団と危機管理課との連携を明確化すべき。		
6	江刺時代は消防事務を行政組合が担っていた。消防署と消防団がより一体化なることが望ましい。事務事業を含めて考えるべき。(担当課でも協議している。大船渡市に研修に行っている)	過去において協議を行なったことがある。今後に向けて働きかけていく。	

第9回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成 27 年 11 月 19 日(木) 会場 江刺生涯学習センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	<p>出初式の開催は土曜日ではなく、団員が出動しやすい日曜日の開催にして欲しい。冬タイヤの交換は早めに、その他の備品の整備を求む。</p>		
8	<p>区ごとの消防施設の調査を実施して欲しい。屯所の整備が遅れている。（江刺区において）計画的に改善して欲しい。消防車両は軽車両でなく普通車にして欲しい。現在 14 台ある。</p>		

第9回「市民と議員の懇談会」第 5 班報告書

1 開催月日	平成 27 年 11 月 19 日 (木) 午後 7 時 00 分から午後 8 時 33 分	
2 会場	衣川保健福祉センター	
3 参加者数	24 名 (内訳 男性 24 名、女性 0 名、議員・職員 0 名)	
4 出席議員	班長 渡 辺 忠 議員 進行係 千 葉 悟 郎 議員 説明係 藤 田 慶 則 議員 記録係 千 葉 敦 議員 菅 原 圭 子 議員 受付係 千 葉 敦 議員 菅 原 圭 子 議員	
5 欠席議員		

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

・婦人消防協力隊への参加要請もするべきであった。

(以前女性団体での懇談会は行ったが、協力隊の縮小など課題が消防団同様多々ある。)

第 9 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 19 日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>譲ろうと思っても若者がいない、話が合わない。年齢に関係なく、地域全体として消防団に入るんだよなどの環境、雰囲気作りが必要だと思う。</p> <p>出動手当 1,500 円は安く、訓練もきつく魅力がない。全国的に優遇をする対策を取っているところがある。奥州市でも魅力ある特権を考えてみたらどうか。（例としてガソリン割引券や商品券など）</p>		
2	<p>花巻市では優遇対応が実施（市の施設無料や割引き）されているという新聞記事があった。入団届などを配っても入団した方はなく、団員確保の効果はない。仕事の多様化のため、思い切った施策を考えないとだめ。団員だけでなく、家族ぐるみでの優遇も考えてみては。</p>		
3	<p>消防団活性化委員会（構成員 18 名）のメンバーになっているが、各区取り巻く状況は同じ。入らない理由は仕事関係、関心がないとの声もあった。関心を向けるため、会議での課題となっている。他分団の話では地区役員を免除するから消防団へという話もあるようだ。責任を持たない人が消防団に入っても困る。</p>		
4	<p>衣川であった消防訓練の反省会の中で、「個人の優遇措置も大切だが、企業にも働きかけ、出動しやすい対策を（例えば、減税などの税制措置）」との声があった。行政からの働きかけが重要である。</p>		
5	<p>報酬、出動手当のアップする予定はあるのか。出動手当 1,500 円では魅力ある話が出来ない。若者たちは金銭的に割り切っている。若者に魅力ある消防団の勧誘が出来ない状況にある。</p>		

第 9 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 19 日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
6	<p>消防団活動はボランティアである。ボランティアを続けるためには、幼少期からボランティア精神を持たせる指導が必要ではないか。幼稚園、保育所（園）だけではなく、小中学校にも拡大して取り組んでほしい。ボランティア精神が身につくのでは。</p>		
7	<p>今年の夏（お盆時期）、建物火災発生の際、分署のサイレンはなったが、他の防災サイレンが鳴らないことで消防団の活動が遅れ、全焼となった。消防団にはメール連絡もあるが、メールだけでは連絡が取れないこともある。大きくても小さくてもサイレンを鳴らして知らせるべき。</p> <p>職員に、資格がなければサイレンが鳴らせないと言われた。資格のある人が常にいないと防災無線の意味をなさない。鳴らすのは、ほかの地区の防災、救護活動にもなる。その辺を市としても考えてほしい。</p>	<p>各地域の違い。 防災無線や情報発信については、調査が必要。</p> <p>※ 出席していた消防団員の中に衣川総合支所職員や無線に詳しい方がおり、説明があった。消防担当課、担当がいなく、サイレンもなかなか鳴らせない。防災無線も無線なので、原則資格者のみ。電波法が厳しくなって、違反すると罰金が高額であるし、分署で押せるサイレンは、総合支所のサイレンのみ、分署には防災無線のボタンはないとのこと。防災無線を使用しているのは衣川区だけ。</p>	
8	<p>今の消防団に対する運用、平日の勤務時間内の建物火災に対してのみサイレンを鳴らすという運用方法が決まったようだ。団員に対してはメール配信。建物内にいればすぐ押せるが、不在の場合は 30 分位のロスもあるため、メールの方に向かっているようだ。多くの人が携帯、スマートホンに変わってきている。団員アプリというのは作れないものか。メールより早く一斉に連絡が出来ると思う。一つの夢物語だが、可能性として出来ないものかという思いもある。</p>		

第 9 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 19 日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
9	<p>北股、南股は住民の数も少なく、若者も少なくて団員のなり手が無い。地域特性を考えてもらいたい。</p> <p>地域（自主防災組織の人たち）と防災訓練を合同実施してみた。防災設備、前沢、胆沢は機材の充足率がよい。衣川は地区の人たちが作ったのが多く、かなり老朽化しているし、地域によっては機材が少ない。奥州市全体が同じレベルになるようにしてほしい。</p>		
10	<p>衣川では消火栓の隣にホース入れがある。他地域と違うということで撤去されたところが多い。いち早く火を消すとなると地元の応援が必要。年に一回行政区で消火訓練している。団員いないなりに手伝ってくれる人を養成して教えておくことが必要だが、ホースがない。この分を充実してほしい、検討してほしい。</p>		
11	<p>南股線の川内から下の川西、滝ノ沢にいく道路、その間に道路一本あるが、冬期間閉鎖になる。以前、夏場に木が覆いかぶさっていて、要望して草刈り等をしていただいた。以前は車が通るのがやつの状況だったので、常日頃、通行できる整備をお願いしたい。</p>		
12	<p>除雪の基準について、地域によって積雪量が違うが、衣川は多い。観測地点がどこか分からないし、もっと奥の方を観測地点にしてほしい。</p> <p>高齢者、一人暮らしなどが多く、家の門口に除雪した雪がそのままになると、長い門口だとそれを取り除くのが人力では困難である。旗を立てるとか目印をして注意を促してほしい。</p>	<p>除雪業者、区長の連携が必要となる。</p>	

第 9 回「市民と議員の懇談会」概要 第 5 班 平成 27 年 11 月 19 日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
13	<p>平成 21 年に地デジ組合設立して、難視聴区域の解消を行ってもらったが、だんだん人が減ってきて、最終的に残った人が負担するというからくり。2 年前に衣川の 11 組合が市長に対して補助の要望をした。せっかく難視聴地域が解消されても、負担が大きくなって破産というような状態になる。ですから、議員さん方の力添えは貸していただきたい。</p>	<p>その問題は胆沢にもあった。地域に呼びかけて解決にはなったが、やっぱり共同という、次の手は共同しかないという。せっかくいいものを要求して設置はしたものの、負担が発生するから。人口減少で減っている。格差が出来るだけ。人いるところは便利な、周辺部の人の少ないところは・・・。衣川だけではなく奥州市全体の、周辺部の大きな課題と思う。胆沢はこの間、話し合っ解決の方向に向かった。地域の人たちの問題だと捉えて、利用している人だけではなく、利用していない人も呼び込みして、解決の糸を探った。</p>	
14	<p>奥州市の企業誘致について、市でどんな計画があるか、何かあれば聞かせてほしい。魅力ある企業の誘致が出来れば、若い人も集まってくるのかなあという考えもあるので、奥州市としてどんな計画があるのか伺いたい。</p>	<p>合併前から、江刺、前沢、胆沢にもあるが、合併後は、江刺区内の工業団地には入ってきている。誘致はされている。当局にも担当者がいるので、全国まわっているし、進出した企業の関係する業者に歩いたりしている。誘致した企業が閉鎖して、本社に戻るという問題も結構ある。反面、でてくる企業、かかる経費についての話し合いも条件出される。行政だから解決していかなければ、相手が出やすい条件を対応していかなければならない。なかなか来てくれる企業も少なくなっている。</p> <p>今、考えられる策は、姉妹都市の静岡県掛川市は条件がよくて資生堂とか本社が来ている。そういった姉妹都市交流をひとつとして、企業にも来ていただく取り組みも一つの方法と考える。毎回議会にも報告がある。今後も気をつけて見ていきたい。</p>	

2015 奥州市議会

～議員26名が5班に分かれ、各会場を担当します～

市民と議員の懇談会

奥州市議会は、平成21年9月制定した「議会基本条例」に基づき、「市民の意見を市政に反映させる」「しっかりと討議する議会」「市民に開かれた議会を目指す」を議会活動の3つの柱とし活動しております。

この市民と議員の懇談会は、市民が議会を身近に感じてもらうために開催しているもので今回で8回目の開催となります。

今年度は次の内容により開催しますので、多くの皆さんの参加と貴重なご意見・ご提言をお待ちしております。

～どなたでも、好きな会場に参加できます～

懇談テーマ

「人口減少問題と奥州市の

課題(地域自治区等)」

- ・9月定例会の報告
- ・議会に対する意見要望、地域における諸課題等



月日	時間	班	会場	時間	班	会場
11月4日 (水)	14:00 ～ 16:00	1	伊手地区センター	18:30 ～ 20:30	1	羽田地区センター
		2	常盤地区センター		2	米里地区センター
		3	真城地区センター		3	南都田地区センター
11月6日 (金)	14:00 ～ 16:00	4	南股地区センター	18:30 ～ 20:30	4	広瀬地区センター
		5	玉里地区センター		5	白山地区センター



昨年度開催の様子



主催：奥州市議会市政調査会

問合せ：奥州市議会事務局 [電話24-2111(内線612)]

↓ 班編成

【1班】 ・11/4(水) 伊手・羽田



菊池利美(水沢区)



飯坂一也(前沢区)



高橋政一(胆沢区)



中西秀俊(江刺区)



及川善男(水沢区)

【2班】 ・11/4(水) 常盤・米里



野富男(江刺区)



千葉正文(水沢区)



阿部加代子(水沢区)



小野寺隆夫(胆沢区)



菅原明(衣川区)



小野寺重(前沢区)

【3班】 ・11/4(水) 真城・南都田



鈴木雅彦(前沢区)



菅原由和(水沢区)



今野裕文(胆沢区)



佐藤邦夫(江刺区)



内田和良(水沢区)

【4班】 ・11/6(金) 南股・広瀬



及川佐(江刺区)



佐藤洋(水沢区)



佐藤郁夫(江刺区)



加藤清(胆沢区)



中澤俊明(水沢区)

【5班】 ・11/6(金) 玉里・白山



千葉敦(江刺区)



菅原圭子(前沢区)



千葉悟郎(水沢区)



藤田慶則(胆沢区)



渡辺忠(胆沢区)